

今朝もサンフランシスコはくもりで気温は8℃と昨日とほぼ同じぐらいの寒さでした。今朝は集合時間の8時には全員が揃いこれまでの失敗からそれぞれが修正できた結果となりました。

今日から英語レッスンが開始となります。今朝は昨日のプレースメントテストの結果でクラス分けされた用紙が配られ「Advanced」(上級)、「Intermediate」(中級)、「Elementary」(初級)に振り分けられました。多くの生徒は「初級」クラスになり、「中級」、「上級」クラスに入った生徒もいます。「初級」、「中級」ともに複数クラスに分かれ、それぞれのクラスに他国の留学生が混ざって、一緒に学んでいくこととなります。

途中の休憩時間では、みんなが初めての英語レッスンで受けた感動と衝撃で、笑顔の生徒もいれば、不安のあまり今にも泣きだしそうな生徒もいました。特に「上級」のクラスでは「economy」(経済)をテーマにディスカッションをしており、レベルの高さに戸惑いを感じていたようです。

今日から4日間ではありますが、生徒達にとって英語が何を意味しているのか、また他国の留学生から何を感じ得るのがとても楽しみであります。

午後はカリフォルニア大学バークレー校を訪問しました。12時15分に集合して、語学学校から地下鉄「Bart」を使って「Downtown Berkeley」へと向かいました。通学にはバスを使っていて今回初めて「Bart」に乗る生徒もいたため、事前に駅で、チケットの買い方から目的地へ利用する路線の確認を行ってから乗り込みました。

6つの路線から成り立つ「Bart」は、目的地へ行くには乗継と直行便があり、日本の電車のように車内に次の駅を案内する電光掲示板などはありません。混雑した電車を想定して、それぞれがしっかり経路を把握しておく必要があります。30分ほどかかって目的地の「Downtown Berkeley」駅に到着。そこで帰りを想定して、帰る路線とプラットフォームを確認して駅を出ました。

駅からは大学まで徒歩10分ほど。現地大学生との待ち合わせ場所「Sather Gate」へと向かいました。

待ち合せの14時になると、大野優さんが来て下さり、早速キャンパスツアーをして下さいました。

大野さんは現在大学2年生。「分子細胞学」を専攻されていて、将来は小児科医を目指しています。実は大野さんは、生まれも育ちもアメリカの日系アメリカ人です。しかし、小さいころから家庭内では英語ではなく、日本語だけを話すルールだったため、日本語が自由に話せ、日本についてとてもよく知っていました。

カリフォルニア大学バークレー校はこれまで50人以上のノーベル賞受賞者を輩出しており、『2016年世界大学ランキング』でも10位(東大は39位)に位置している、世界的に有名な大学です。その広大な敷地の中には、複数の図書館や学部ごとに分かれた建物以外にも芸術ホールや美術館、科学館、植物園などもあり、生徒にとってどう映ったのかとても楽しみです。

最後に大野さんから生徒達へのメッセージとして、自らの体験談をもとに、自分のやりたい事を見つけるためにも『高校時代に将来のことを考える大切さ』と『失敗を恐れずチャレンジしていく大切さ』を伝えてくれました。大野さんは期末テスト期間中だったため、そのあとすぐに次のテスト会場へと向かっていきました。

大学を出てから全員で「Downtown Berkeley」駅まで戻り、明日の登校時間とスケジュールの確認をし、昨日生徒主導で決めた帰宅連絡網の確認をして解散となりました。

【生徒の感想から】

- ・自分から知らない人に話しかけることはとても怖いけれど、全てのことに全力でチャレンジしたい。
- ・行動すれば何らかの結果がついてくると思うので、失敗してもまた行動すればよいと思った。
- ・現地校訪問では、英語に自信がなく質問できなかったのが結構くやしかったです。
- ・現地の高校はすごくレベルが高いと感じました。自分達がやっている以上の研究をしていて、とてもワクワクしました。
- ・高校訪問ではとても後悔。つらかったです。なぜなら高校の先生や生徒が一生懸命説明しているのに分からない単語も多く、質問もできなかったからです。
- ・現地の高校生はこんなに堂々と生き生きとしていてカッコよかったです。
- ・現地の高校生は自分から進んで何事にも取り組んでおり、とても輝いていた。
- ・アメリカに来て3日目。日本では分からなかった23人の集団が少しずつ見えてきた気がする。



語学学校ロビーにて



語学学校のキャンパスツアー



大野優さんと面会



図書館前



考古学科の建物内



UCB の象徴でもあるセイザータワー前



キャンパスツアー中



最後大野さんからのメッセージ